

ほけんだより3月号

令和4年度 社会福祉法人雫石保育園 保健室



保育発表会も無事に終わり、いよいよ入学や進級に向けて準備をする時期になりました。子どもたちは元気に雪遊びや室内遊びを楽しんでいます。新聞やニュースで、コロナウイルス感染症やインフルエンザの流行が報道されています。十分な休息を心がけ残り1か月を楽しく過ごせるようにしたいですね。



今後のマスク着用について

3月13日からマスクの着用は、個人の判断という政府の方針が発表されました。保育園では、現在のコロナウイルス感染症やインフルエンザの流行状態を考慮し、スイミングのバスの利用時等はこれまでどおりマスクの着用をお願いしたいと考えております。現在のところコロナウイルス感染症に関しては、マスクを着用しているかどうかでの濃厚接触者にあたるかを判断することになっています。これらのことを踏まえ、マスクの準備を引き続きお願いいたします。



インフルエンザ流行警報レベル！

岩手県内では、インフルエンザが流行しています。当園でインフルエンザに感染した園児数は、玄関の保健室からのお知らせボードで確認していただくようお願いいたします。

<症状> 悪寒やのどの痛み、咳、鼻水などの風邪症状から始まり、38～40℃の高熱、頭痛、関節痛、筋肉痛などの全身症状が出ます。高熱による熱性けいれんにも注意が必要です。(37℃前半でもインフルエンザの陽性が出ることもあります。) 嘔吐、下痢などの胃腸炎症状が出ることもあります。

<登園基準> 発症した後5日間を経過、さらに解熱をしてから3日間を過ぎてから。

* 小学校は解熱をしてから2日です。

* 主治医の指示に従いましょう。



「解熱」の判断は・・・解熱剤を使わない状態で、朝から夜まで平熱になった日を「解熱した日」と判断します。

上記は、あくまでも登園の目安です。感染防止のため停止期間は主治医の指示に従いましょう。

☆インフルエンザの診断を受けたら園までお知らせいただくことは・・・

① A型のインフルかB型のインフルエンザか ②受診した医療機関 ③登園停止期間など主治医からの指示

☆インフルエンザは陰性でしたが・・・

これまでの発熱後の対応と同じで、解熱後48時間自宅で様子を見ていただくようお願いいたします。1度解熱しても再度熱が上がり、検査をすると陽性の診断を受けることがあります。登園した場合、発熱が確認された時点でご連絡いたします。園内の蔓延を防ぐためにもご理解とご協力をお願いいたします。

☆家族でインフルエンザが出た場合・・・

お預かりする子どもさんの症状がなければ登園は可能ですが、家族の誰が、いつからかかっているか、熱が上がった場合の連絡先を担任までお知らせください。